

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2100111001	潜在能力の開発 Development of potential ability	学長・学部長・教務委員長・学生委員長・就職指導委員長・寺部副理・同窓会長		共通	2	必修	1前期

科目的概要

管理栄養学科の「ディプロマポリシーDP1、DP2、DP3」を栄養教育を通して修得します。DP1は建学の精神、社会人基礎基礎力、pisa型学力を活用して実践する方法を修得します。DP2は管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造する力を修得します。DP3は、常に自己研鑽する習慣を身につけることを目的に学ぶ初年次教育科目です。そして、本学独自の「自学・共学システム『学びの泉』」学修プログラムの基礎科目です。また創立者「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読み解き、創立者が目指した教育信条を理解します。その後、「私のおもいでぐさ」を完成させます。

学修内容	到達目標
① 家政学部の教育目標を理解する。 ② 「自学・共学システム『学びの泉』」を理解する。 ③ 自己ビジョンを明確にする。 ④ 寺部だい自伝「おもいでぐさ」を熟読して四大精神を理解する。 ⑤ 「私のおもいでぐさ」を作成する。	① 自己の学修目標を達成するために獲得した必要な知識・技能を活用して、学修目標を達成する関連図を作成することができる。 ② 「自学・共学システム『学びの泉』」を理解することで、自己の潜在能力の開発に必要な能力をどのように獲得・活用して課題解決するかのノウハウを獲得することができる。 ③ 自己ビジョンを明確にすることで、ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができます。 ④ 「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。 ⑤ 「私のおもいでぐさ」を作成することで、自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育む能力を獲得することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	目標・目的を達成するために、自らやるべきことは何かを能動的に考えることができ、その考えを行動に結びつけることができるが、主体性を発揮していることです。
	働きかけ力	目標・目的を達成するために、人・物（資料）に働きかけができることが、働きかけ力を発揮していることです。
	実行力	目標・目的を達成するために、自ら決めたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができるが、実行力を発揮していることです。
考え方抜く力	課題発見力	目標・目的を達成するために必要な知識・技能を獲得・活用して課題を発見ができることが、課題発見力を発揮していることです。
	計画力	目標・目的を達成するために、無駄な時間、労力等を削減して効率的な計画を立案（修正）ができることが、計画力を発揮していることです。
	創造力	目標・目的を達成に必要な知識と技能を活用して、課題解決策を複数提案することができるが、創造力を発揮していることです。
チームで働く力	発信力	目標・目的を達成するために、自己の意見・考え・提案を持ち、その内容を相手に理解してもらえるように伝えることができるが、発信力を発揮していることです。
	傾聴力	目標・目的を達成するために、相手が話をしている時は、適切なタイミングで相槌、うなづき等を行い、相手が話しゃやすい環境をつくる。そして、相手の話の内容を整理して、話の内容が深掘りできることが、傾聴力を発揮していることです。
	柔軟性	目標・目的を達成するための課題解決にあたり、相手の意見・考え・提案に異論があっても反対するのではなく、まずは受容し自分と相手の意見・考え・提案を整理して、前に進めるには何が必要かを考えられることが、柔軟性を発揮していることです。
	情況把握力	目標・目的を達成するためには、物事を内面的な側面から情況を捉え、計画を前に進めることができるが、情況把握力を発揮していることです。
	規律性	目標・目的を達成するために、計画的に進めるために決めた約束ごとを守る行動ができることが、規律性を発揮していることです。
	ストレスコントロール力	目標・目的の達成を目指す中で、発生するストレスの根源は、課題の解決法がわからない、人間関係が上手くいかないことが多い。この2つのストレスを解決できれば、ストレスは解消する。ストレスは自分の成長のチャンスだとポジティブに捉え行動することができるが、ストレスコントロール力を発揮していることです。

テキスト及び参考文献

参考文献：

- ①「寺部だい自伝『わすれなぐさ』」（安城学園発行、寺部だい著）
- ②「自学・共学システム『学びの泉』」 - 「智性・徳性・身体・感性・行動」の5つをバランス良く鍛える - (学泉ノート) (愛知学泉大学発行、学びの泉開発委員会)
- ③愛知学泉大学建学の精神 <https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/idea.html>
- ④愛知学泉大学 教育スタイル <https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/kisoryoku.html>

他科目との関連、資格との関連

家政学部の教育目標を達成するために共通科目として配置しています。また、この科目は本学独自の「自学・共学システム『学びの泉』」を推進する初年次科目です。

学修上の助言	受講生とのルール
最も重要なことは、自己ビジョン（目標・目的）を持つことです。将来の自分を描けるようにしておきましょう。そして授業は自ら望んで受講しているという意識を持ち出席します。提示されたワークシート（PCR等）を整理し、出題された課題に取り組みます。	やらされているという意識より、自ら望んで受講している能動的な意識を持って受講します。授業内で決められたルールは、必ず守ります。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	0	①	
			②	
			③	
			④	
			⑤	
	小テスト	0	①	
			②	
			③	
			④	
			⑤	
	平常評価	90	① ✓	(以下は本授業の到達目標の項目で評価します) ①家政学部のディプロマポリシーと教育目標を理解することができる。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解することができる。 ③自己ビジョン明確にことができる。 ④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を理解し、四大精神を活用することができる。 ⑤「私のおもいでぐさ」を作成することができます。
			② ✓	S: ①～④全ての項目について理解して活用もできている。⑤完成している。 A: ①～④全ての項目についてほぼ理解し、活用している。⑤完成している。 B: ①～④全てではないが理解し、活用している。⑤完成している。 C: ①～④全てではないが理解をしている。活用がみられない。⑤完成している。
			③ ✓	(Fの各項目の評価) ①家政学部のディプロマポリシーと教育目標を理解できていない。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解できていない。 ③自己ビジョンを明確にすることができない。 ④四大精神が実践できていない。 ⑤「私のおもいでぐさ」完成していない。
			④ ✓	
			⑤ ✓	
	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	0	①	
			②	
			③	
			④	
			⑤	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	① ✓	以下の能力評価方法は、前項の学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例より評価します。詳細は授業の中でループリックで示します。 <主体性>目的・目標を達成するために、能動的な行動ができる。 <働きかけ>目的・目標を達成するために、参加・協働することができる。 <実行力>目的・目標を達成するために、決めたことを確實に行なうことができる。 <課題発見力>目的・目標の達成するために、知識・技能を活用して課題を発見することができる。 <計画力>目的・目標の達成するために、効果的な計画を立案することができます。 <創造力>目的・目標の達成するために、抽出した課題を解決する知識・技能を発揮することができます。 <発信力>目的・目標の達成するために、自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく、相手に伝えることができる。 <傾聴力>目的・目標の達成するために、相手の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができる。 <柔軟性>目的・目標の達成するために、相手の意見を受け入れることができる。 <情況把握力>目的・目標の達成するために、内面的な側面から計画の進捗状況を把握することができる。 <規律性>目的・目標の達成するための約束ごとを守りることができます。 <ストレスコントロール力>目的・目標の達成時に発生するストレスは、自己の成長と捉えることができる。 以上の12の能力要素は、ワークシート (PCR)・提出物の記述内容と授業内での行動より評価します。全能力要素の評価基準は学泉ノートの評価レベルで判定します。レベル3以上で10ポイントの評価とします。
			② ✓	
			③ ✓	
			④ ✓	
			⑤ ✓	
総合評価割合		100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>学修の到達目標を対象に評価します。</p> <p>①4年間の授業で知識・技能をどのような関連性で獲得・活用するか、明確に図式化されている。</p> <p>②自己の潜在能力の開発に必要な能力を「どのように獲得・活用して課題解決する」かのノウハウを獲得している。</p> <p>③自己ビジョンが明確で、目的達成に必要な課題を発見し、解決の方法が明確になっている。</p> <p>④大学生活の中で四大精神を実践することができる。</p> <p>⑤「私のおもいでぐさ」を完成させ、豊かな人間性を育む能力は何かを獲得している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①から⑤全てが確実にできている。 ··· S ・①から⑤全て確実ではないができている ··· A 	<p>学修の到達目標を対象に評価します。</p> <p>①4年間の授業で知識・技能をどのような関連性で獲得・活用するか、図式化されているが不明瞭である。</p> <p>②自己の潜在能力の開発に必要な能力を「どのように獲得・活用して課題解決するか」のノウハウの獲得が不明瞭である。</p> <p>③自己ビジョンが明確で、目的達成に必要な課題を発見し、解決の方法が不明瞭である。</p> <p>④大学生活の中で四大精神の一部のみの実践である。</p> <p>⑤「私のおもいでぐさ」を完成させている。しかし、豊かな人間性を育む能力は何かの獲得が不明瞭である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①から⑤に3項目は該当している。 ··· B ①から⑤全てに該当している。 ··· C

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション(授業の進め方) ・教育目標とディプロマポリシーを理解する。 ・「自学・共学システム『学びの泉』」を理解する。 担当：安藤明美	〈講義・ディスカッション〉 ①教育目標は「学則」(Campus Life)を用いて講義する。 ②潜在能力の開発のポイントを「自学・共学システム『学びの泉』」(学泉ノート)を用いて講義する。 ③「学則」と「自学・共学システム『学びの泉』」の実践についてディスカッションする。	・学則を理解することができる。 ・「自学・共学システム『学びの泉』」を理解することができる。	(予習) ・当該学科のCampusLifeの学則を読む。 ・学泉ノートの構成要素を確認する。 (復習) ・学則・当該学科の教育目標をまとめる。 ・学泉ノートに記載されている汎用能力の定義を明確にしておく。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	愛知学泉大学の教育方針を理解する。 担当：学園長・理事長	〈講義〉 ①教育方針について講義する。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」について講義する。	・「自学・共学システム『学びの泉』」のシステムを理解することができる。	(予習) ・本学のHPで、教育方針を確認する。 (復習) ・教育方針と「自学・共学システム『学びの泉』」の活用法を整理する。 ・google formsを活用した確認テストを実施する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	・学修方法について「学泉ノート(学修編)」を用いて理解する。 ・自己の学修行動レベルを把握する。 担当：教務委員長	〈講義・演習〉 ①履修・学修の方法を講義する。 ②学修行動レベルをセルフチェックを用いて自己評価する。	・学修への取組方について理解できる。 ・「学泉ノート(学修編)」の活用法を理解することができる。	(予習) ・「学泉ノート(学修編)」を読む。 (復習) ・自己の学修行動レベルを振り返り、強みと弱みを把握する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	・学生生活の基本について「学泉ノート(学生生活編)」を用いて理解する。 ・自己の生活活動の行動レベルを把握する。 担当：学生委員長	〈講義・演習〉 ①学生生活の基本について講義する。 ②学生生活の行動レベルをセルフチェックを用いて自己評価する。	・学生生活の基本を理解することができる。 ・「学泉ノート(学修編)」の活用法を理解することができる。	(予習) ・「学泉ノート(生活編)」を読む。 (復習) ・自己の学生生活の行動レベルを振り返り、強みと弱みを把握する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	・就職活動の取組について「学泉ノート(就職活動編)」を用いて理解する。 ・自己の就職活動の行動レベルを把握する。 担当：就職指導委員長	〈講義・演習〉 ①就職活動の取組について講義する。 ②就職活動の行動レベルをセルフチェックを用いて自己評価する。	・就職活動の基本を理解することができる。 ・「学泉ノート(学修活動編)」の活用法を理解することができる。	(予習) ・「学泉ノート(就職活動編)」を読む。 (復習) ・自己の就職活動の行動レベルを振り返り、強みと弱みを把握する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・本学創立の教育信条を理解する。 ・四大精神の実践とは何か理解する。 寺部理事長補佐・家政学部同窓会長	〈講義〉 ①創立の教育信条について講義する。 ②四大精神の実践について講義する。	・創立者の教育信条を理解することができる。	(予習) ・創立者寺部だい自伝「わすれなぐさ」を読む。 (復習) ・創立者寺部だいの教育信条について、整理する。 ・google formsを活用した確認テストを実施する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・ビジョンを達成するためのポイントを理解する。 担当：未定	〈講義・ディスカッション〉 ①ビジョンを達成するまでの取り組みの実践例を講義する。その後、ディスカッションする。	ビジョンとは何かを理解することができる。	(予習) ・「ビジョン」の意味を理解する。 (復習) ・「自己のビジョン」を明確にする。 ・google formsを活用した確認テストを実施する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	・自己ビジョンの設計図を作成する。 担当：安藤明美	〈講義・演習〉 ①自己ビジョンの作成方法について講義する。 ②自己ビジョンの設計図を作成する。	・自己ビジョンの設計図の構想ができる。	(予習) ・自己ビジョンを明確にする。 (復習) ・「自己の人生設計図」を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・自己ビジョンを達成するための、「自学・共学システム『学びの泉』」の活用法を理解する。	〈講義・演習〉 ①自己ビジョンを達成するための、「自学・共学システム『学びの泉』」の活用法について講義をする。 ②自己ビジョンを達成する「自学・共学システム『学びの泉』」を設計図に組み込む（演習）。	・自己ビジョンを達成するための、「自学・共学システム『学びの泉』」を理解することができる。	(予習) ・自己ビジョンを達成するに必要な知識・技能・汎用力を調べる。 (復習) ・自己ビジョンを達成する知識・技能・汎用力をさらに見直し、設計図に追記する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より、四大精神を読み解く。① 担当：安藤明美	〈講義・演習〉 ①「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神の抽出法について講義する。 ②「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を抽出する（演習）。 ③抽出した四大精神について、学生間でディスカッションをする。	・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を読み解くことができる。	(予習) ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」の指定ページまで読む。 (復習) ・授業内で気づかなかつた四大精神を抽出して、シートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より、四大精神を読み解く② 担当：安藤明美	〈演習・ディスカッション〉 ①「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を抽出する（演習）。 ②抽出した四大精神について、学生間でディスカッションをする。	・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を読み解くことができる。	(予習) ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」の指定ページまで読む。 (復習) ・授業内で気づかなかつた四大精神を抽出して、シートにまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より、四大精神を読み解く③ ・大学生活に四大精神をどのように実践するか。 担当：安藤明美	〈演習・ディスカッション〉 ①「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を抽出する（演習）。 ②大学生活に四大精神を発揮することについて、学生間でディスカッションをする。	・「大学生活に四大精神を発揮する提案ができる。	(予習) ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」の指定ページまで読む。 (復習) ・授業内で気づかなかつた四大精神を抽出して、シートにまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・「私のおもいでぐさ」の作成方法を理解する① ・「私のおもいでぐさ」の骨格を作る 第1章「私の誕生から保育園・幼稚園児時代まで」を作成する。 担当：安藤明美	〈講義・演習〉 ①「私のおもいでぐさ」を作成する目的について講義する。 ②「私のおもいでぐさ」の骨格を考える（演習）。 第1章「私の誕生」の四大精神を観点に作成する。	・「私のおもいでぐさ」の骨格を作ることができる。	(予習) ・自分の誕生から幼児期についての情報を収集する。 (復習) ・「私のおもいでぐさ」第1章を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・「私のおもいでぐさ」を作成する。 第2章「中学生・高校生時代まで」および第3章「大学（前期）時代まで」を作成する。 担当：安藤明美	〈講義・演習〉 ①第2章「中学生・高校生時代まで」および第3章「大学（前期）時代まで」を作成する（演習）。	・第2章まで完成することができる。	(予習) ・自分の「中学生・高校生および大学（前期）時代まで」の出来事をまとめる。 (復習) ・「私のおもいでぐさ」第3章を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・自己的「自学・共学システム『学びの泉』」の発揮法を明確にする。 担当：安藤明美	〈ディスカッション・演習〉 ①自己的「自学・共学システム『学びの泉』」の発揮法について、ディスカッションをする。 ②①を整理する（演習）。	・自己的「自学・共学システム『学びの泉』」の発揮法について、提案することができる。	(予習) ・「自学・共学システム『学びの泉』」を理解する。 (復習) ・自己的「自学・共学システム『学びの泉』」の発揮法を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレソントロール力